

学校評価アンケート結果まとめく令和5年度・第2回実施分

◎生徒への質問

	質問内容
1	自分は、授業の見通しをもち、主体的に取り組んでいる。
2	授業の終わりに「振り返り」をして、自分の学びを確認している。
3	(2・3年生への質問です) 数学の授業を少人数で行うことで、より理解しやすくなっている。
4	(全学年への質問です) 授業などでiタブやパソコンなどを活用している。
5	自分は、毎日授業以外に学習している。(家庭学習など)
6	学校は、花があり、掲示物がきれいに整理されている。
7	自分は、来校者に対して自分からあいさつしている。
8	自分は、奉仕・福祉活動(花植え作業、除草作業等)に取り組んでいる。
9	道徳の授業では、人間の在り方や人生をよりよく生きることなどについて考えを深めている。
10	自分は、行事に対して積極的に取り組んでいる。
11	いじめのない学校づくりに努めている。
12	自分は、学校生活の約束事を守っている。
13	自分は、給食等を通して食事の大切さを学んでいる。
14	自分は、自分の進路について考えている。
15	学校は、アルカス運動(学校の奉仕活動)や奉仕活動が行われ、地域に貢献している。
16	防災に関する学習を通して、災害時の対応を考えている。
17	ふだん家庭でパソコンやスマホ等(iタブを除く)でインターネット、SNS等を利用できる機器を持っていますか。
18	パソコンやスマホ、iタブ等でインターネット、SNS等をする時間は、1日にどれくらいですか。

◎保護者への質問

	質問内容
1	生徒は、授業の見通しをもち、主体的に取り組んでいる。
2	生徒は、授業の「振り返り」を通して、学びの実感をもつことができている。
3	(2・3年生保護者への質問) 2・3年生の数学での少人数による指導を通して、質問がしやすくなっている。
4	(全学年保護者への質問) 生徒は、授業などでiタブ(1人1台端末)等のICT機器を活用している。
5	生徒は、自ら学習に取り組んでいる。
6	生徒は、学びのための環境整備(整頓された教室や掲示物等)を自ら行っている。
7	生徒は、挨拶や礼儀をきちんとしている。
8	生徒は、福祉教育活動(花植え作業や除草作業、奉仕活動等)に進んで取り組んでいる。
9	生徒は、道徳の授業や学校生活を通して道徳性が育っている。
10	生徒は、行事において達成感や自己有用感を高めることができている。
11	生徒は、不登校やいじめが発生したときは速やかに対応し、いじめの未然防止の取組を行っている。
12	学校は、当たり前のことが当たり前できるように、生徒指導を行っている。
13	学校は、給食活動を基本とした食育を推進し、食の大切さを理解させている。
14	学校は、話し合いや係活動の活性化を図り、望ましい人間関係の育成に努めている。
15	学校は、計画的に進路指導を行っている。
16	学校は、アルカス運動や奉仕活動が実施できるように支援している。
17	学校は、防災教育を推進し、防災意識の向上を図り、災害時の対応を考えている。

※回答は「そう思う」「おおよそそう思う」「あまりそう思わない」「そう思わない」の4択式。

本集計では便宜上、「そう思う」→「肯定的」

「おおよそそう思う」→「やや肯定的」

「あまりそう思わない」→「やや要改善」

「そう思わない」→「要改善」

と表記する。

	肯定的	やや肯定的	やや要改善	要改善
Q1	34.5%	52.3%	11.5%	1.7%
Q2	23.6%	52.3%	20.1%	4.0%
Q3	47.8%	36.3%	11.5%	4.4%
Q4	71.8%	26.4%	1.7%	0.0%
Q5	47.1%	30.5%	14.4%	8.0%
Q6	58.0%	37.4%	3.4%	1.1%
Q7	33.9%	42.0%	21.3%	2.9%
Q8	35.6%	45.4%	13.8%	5.2%
Q9	46.0%	42.5%	9.2%	2.3%
Q10	51.7%	39.1%	7.5%	1.7%
Q11	56.3%	36.8%	5.7%	1.1%
Q12	42.5%	51.7%	5.7%	0.0%
Q13	57.5%	36.8%	4.0%	1.7%
Q14	43.7%	34.5%	12.6%	9.2%
Q15	39.7%	40.8%	10.9%	8.6%
Q16	48.9%	43.1%	5.7%	2.3%

Q3は2・3年生のみ対象。未回答は集計から省略しています。

生徒アンケート結果より

【肯定的傾向の回答の割合が高かった項目 (90%以上)】

- Q1. 自分は、授業の見通しをもち、主体的に取り組んでいる。: 86.8%
生徒たちは授業の進行を理解し、自分から積極的に学習に取り組んでいることが示されています。ICT機器を活用し学習の見通しを持ってることが主体的な学びの姿勢へとつながっていると思われます。
- Q4 授業などでタブレットやパソコンなどを活用している。: 98.2%
- Q6 学校は、花があり、掲示物がきれいに整理されている。: 95.4%
- Q10行事に対して積極的に取り組んでいる。: 90.8%
- Q11 いじめのない学校づくりに努めている。: 93.1%
- Q12 自分は、学校生活の約束事を守っている。: 94.3%
- Q13 自分は、給食等を通して食事の大切さを学んでいる。: 95.2%
- Q16 防災に関する学習を通して、災害時の対応を考えている。: 92.0%
これらの項目は、生徒たちが学校の環境整備やICTの活用、いじめ防止、約束事の遵守、食育、防災意識向上など、幅広い分野において肯定的な傾向を示しています。

【肯定的傾向の回答が比較的高かった項目 (80%以上)】

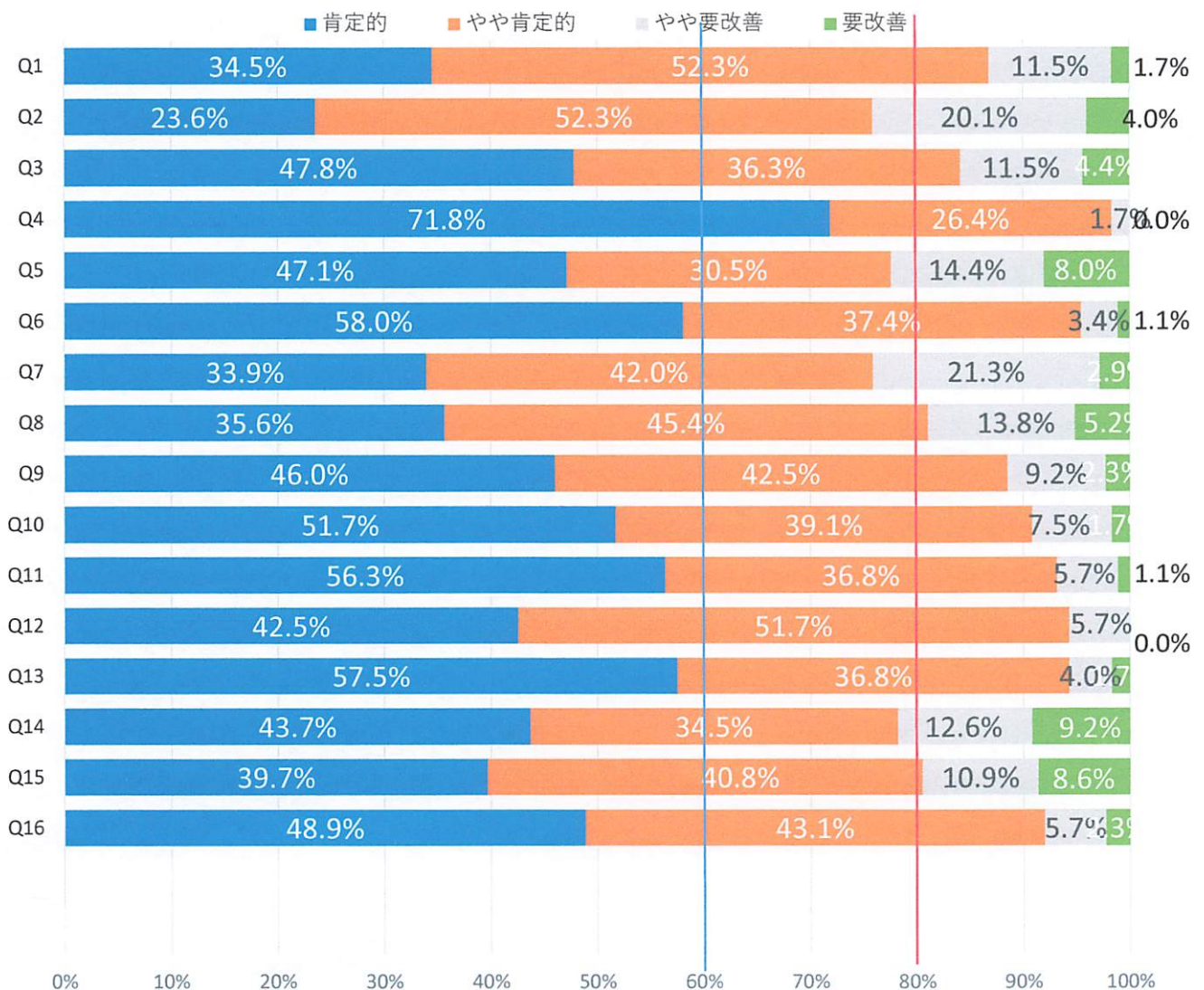
- Q1授業の見通しをもち、主体的に取り組んでいる。: 86.8
- Q3数学の授業を少人数で行うことで、より理解しやすくなっている。: 84.4%
- Q8奉仕・福祉活動(花植作業、除草作業等)に取り組んでいる。: 81.0%
- Q9道徳の授業では、人間の在り方や人生をよりよく生きることなどについて考えを深めている。: 88.5%
- Q15学校は、アルカス運動(学校の奉仕活動)や奉仕活動が行われ、地域に貢献している。: 80.5%

【改善が必要な項目 (80%以下)】

- Q2. 授業の終わりに「振り返り」をして、自分の学びを実感している。: 75.9%
- Q5自分は、毎日授業以外に学習している。(家庭学習など) : 77.6%
- Q7自分は、来校者に対して自分からあいさつしている。: 75.9%
- Q14自分の進路について考えている。: 78.2%
これらの項目については、改善の余地があることがわかります。学習の振り返りや家庭学習の継続、挨拶の徹底、キャリア教育の充実などが考えられます。

学校評価アンケート結果 (対象: 全学年生徒)

項目別回答割合



保護者回答合計 (96) 名

	肯定的	やや肯定的	やや要改善	要改善
Q1	25.7%	37.1%	27.6%	9.5%
Q2	17.5%	41.7%	33.0%	7.8%
Q3-1	22.2%	47.2%	20.8%	9.7%
Q3-2	37.1%	35.2%	19.0%	8.6%
Q4	30.5%	31.4%	23.8%	14.3%
Q5	12.4%	51.4%	26.7%	9.5%
Q6	31.7%	46.2%	16.3%	5.8%
Q7	32.4%	41.9%	20.0%	5.7%
Q8	16.2%	57.1%	20.0%	6.7%
Q9	32.4%	42.9%	17.1%	7.6%
Q10	56.2%	28.6%	6.7%	8.6%
Q11	23.8%	46.7%	21.0%	8.6%
Q12	33.7%	46.2%	12.5%	7.7%
Q13	27.9%	50.0%	14.4%	7.7%
Q14	41.7%	32.0%	19.4%	6.8%
Q15	24.8%	35.2%	32.4%	7.6%
Q16	21.2%	48.1%	24.0%	6.7%
Q17	22.1%	51.0%	21.2%	5.8%

Q3-1は2・3年生の保護者のみ対象。

未回答は集計から省略しています。

保護者アンケート結果より

本年度は、様々な取組をすることができました。それに加え文部科学省よりリーディングDXスクール事業と生成AIパイロット校の指定を受け、他校の手本となるような取組をしてみました。先進的な取組を少しずつではありますが、生徒たちの成長へとつなげることができました。今後も子どもたちの活動する姿や情報を発信していきたいと考えております。このアンケートの結果を振り返り、今後の指導に生かして参ります。

【肯定的傾向の回答の割合が高かった項目 (80%以上)】

(肯定的傾向: 「そう思う」「おおそう思う」)

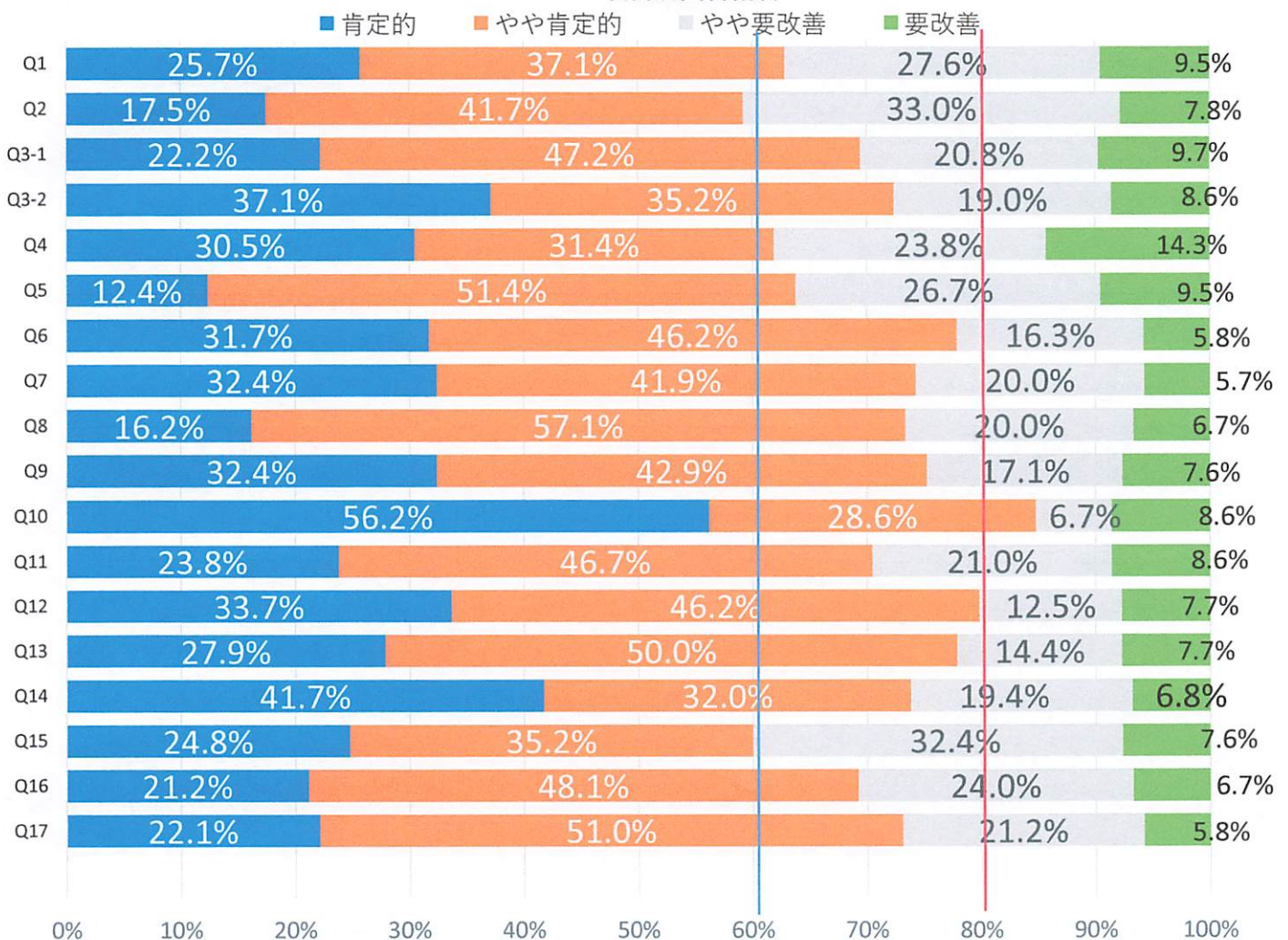
Q10: 「行事において達成感や自己有用感を高めることができている」の1項目について高い評価をいただきました。このことから学校内のつながりや連帯感が強まっていると捉えていただいています。

【肯定的傾向の回答の割合が低かった項目 (60%以下)】

Q2: 「授業の振り返りを通して、学びの実感をもつことができている。」肯定的傾向の回答の割合が60%を下回る項目は1項目でした。振り返りの方法や頻度を明確にし、生徒が自身の学びをより意識的に捉えるように工夫し、振り返りの成果を示す機会を増やしていきます。また、肯定的回答が60%を上回ったものの、要改善の回答の割合が高かったのはQ5: 「自主学习」Q6: 「進路指導」です。これらの課題については学校及び家庭での継続的な声掛けをすると同時に学習への興味喚起できるように授業改善に取り組んでいきます。今後学校生活が充実するよう指導計画を見直し、より一層の教育活動の充実を図って参ります。保護者の皆様のご協力をお願いいたします。

学校評価アンケート結果 (対象: 全学年保護者)

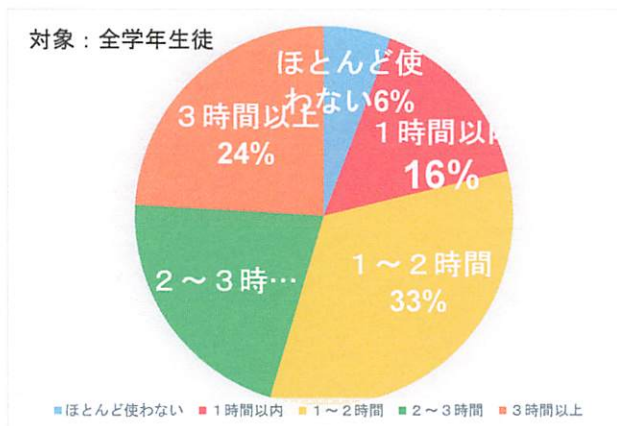
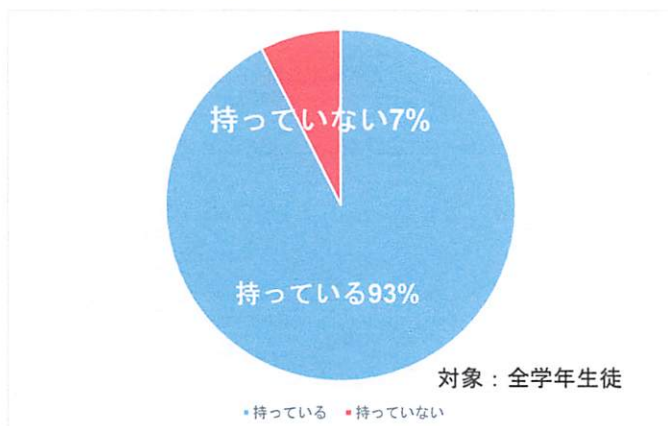
項目別回答割合



インターネット・SNS等の利用に関するアンケート結果

Q17. ふだん家庭でパソコンやスマホ等(i タブを除く)でインターネット、SNS等を利用できる機器を持っていますか。

Q18. パソコンやスマホ等、i タブ等でインターネット、SNS等をする時間は、1日にどれくらいですか。



ICT機器の所持率が93%と高いことから多くの生徒が個別のデバイスを所持しており、生活環境においてICT機器が一般的になっていることが分かります。ICT機器を有効に使うためには正しい使い方を学びデジタルリテラシーを向上させることは切り離すことができません。特にICT機器の利用の仕方や必要性に合わせたサポートや指導が必要になってきます。生徒がICT機器をどのように利用しているかを学校と保護者が連携して情報を共有し、生徒の利用の仕方について共に考えていかなければなりません。またこれからの学習を進めるにはICT機器を有効に使って学びを進めることが必要であることを保護者の皆様に理解していただき、学校と家庭の協力により、生徒の学習環境を整え、支援していきたいと考えております。

学校教育目標を達成するための指標と比較して（令和5年度・第2回実施分）

【生徒への質問より】

教育目標を達成するための指標（各質問項目肯定的な回答80%以上）を掲げ、教育活動に取り組んで参りました。その指標とアンケート結果を基に考察いたしました。

肯定的な回答が80%を越えた質問項目は、①「主体的な姿勢での授業の参加」③「少人数での授業」④「ICTの活用」⑥「整理された学習環境」⑨「道徳教育」⑧「福祉活動」⑨「道徳教育」⑩「積極的な行事への参加」⑪「いじめのない学校づくり」⑫「規則の遵守」⑬「食育」⑮「奉仕活動と地域貢献」⑯「防災学習」の全16項目中12項目でした。これらの回答から整頓された学習環境においてICTを活用し、主体的に授業に参加することができていることがわかります。また、安心できる学校生活の中で、自ら授業や行事に取り組み、充実感を味わい、前期と同様に「自己有用感」を継続して高められていることがわかります。今後も生徒たちの取り組みが実感を持てるような充実したものとなるよう支援して参ります。一方、「授業の振り返り」「家庭学習の充実」「礼儀・挨拶」「望ましい人間関係」は、まだ不十分であると生徒たちは感じています。学校としては、生徒たちが感じていることを常に把握し、学校教育全体を通して生徒、職員ともに一緒に考えながら支援していきます。

【保護者への質問より】

保護者の皆様から肯定的な回答（80%以上のもの）が得られたものは、⑩「積極的な行事への参加」の全17項目中1項目でした。大変高い評価を得られたことを受け止め、さらによりよい教育を進めて参りますので御協力をお願いします。その他の項目に関しては、80%は越えないものの保護者の皆様から70%を越える評価をいただいている項目が10項目あります。学校の教育活動をさらに理解していただくために実際の生徒たちの活動の様子を学校様子をホームページやおたよりサイト等を活用して積極的に発信していきます。

肯定的な回答が60%を下回るものはありませんでしたが、やや低かったものとして、②「授業の振り返り」⑥「進路指導」が挙げられます。⑥については、生徒・保護者ともに低い傾向にあります。学校として教育課程を振り返り、学校と家庭との連携しながらキャリア教育の充実に努めて参ります。学校では引き続き授業改善に取り組み、学びについて生徒と共に考え、楽しく充実した学びになるように努めていきます。また、家庭との情報共有し、生徒の学びの過程をお知らせできるようにデジタル化を更に進めいつでも学校情報が共有できるように工夫をしていきます。今後も本校の教育活動に、御理解と御協力いただきますようお願い申し上げます。